

# ディスポーザ

## ■ まえがき

近年、わが国の一般廃棄物の排出量は増加する一方であり、全国的にゴミの埋立処分場の確保が難しくなっている。ゴミの減量化は急務の社会問題となっている。中でも、家庭から出るゴミの約四割が生ゴミで占められていると言われており、生ゴミの減量化はゴミ全体の減量化への効果は大きい。

ディスポーザとは、①流し台の排水口部に設置、②モータにより粉碎ブロックが回転し生ゴミを粉碎、③水で生ゴミを排水する、という機器であり、ディスポーザによる家庭での生ゴミ処理は、ゴミの減量化だけでなく、ゴミ出しの手間、ゴミの腐敗による悪臭の発生等、身近な生ゴミ問題を解決するためにも有効な方法である。

日本では、生ゴミを排水と一緒に下水道に流すと、処理場の処理能力を超えるため、ディスポーザの設置は、ほとんどの自治体で自粛あるいは禁止されてきた。しかし近年、ディスポーザ専用の処理装置を設けて排水を浄化することを前提に設置が可能となった。

このたび、東陶機器㈱と共同開発したディスポーザはこれらのニーズに応えるものである。開発したディスポーザには、自動給水方式と手動給水方式の2種類がある。

## ■ 特長

### ①自動給水

- ・自動給水方式により、「生ゴミを入れる」、「蓋をする」、「スイッチ ON」と簡単な操作のみで、給水量調節や運転停止、止水などの手動操作が不要。また、粉碎、搬送に必要な水量を自動的に給水するため、配管の詰まりや水の無駄使いが無い。

なお、安価な手動給水方式も開発した。

### ②安全設計

- ・安全蓋を閉めないでスイッチが入らない。
- ・運転中に安全蓋が外れると自動的に運転を停止。
- ・多量な生ゴミの投入、粉碎部へのゴミの噛み込みによりモータが過負荷となると過電流リレーが働き、モータを保護する。

### ③防振構造

- ・圧縮コイルばねを使用した防振構造により、運転時の振動、騒音を大幅に低減。

### ④使いやすい

- ・投入口が広いので生ゴミを投入しやすく、またディスポーザ内部の清掃が容易である。

## ■ 主な仕様

項目	仕様	
電氣的定格	定格電圧	AC 100 V
	定格周波数	50 Hz / 60 Hz
	定格消費電力	210 W / 170 W
使用環境条件	設置場所	流し台
	周囲温度	0℃～45℃
	周囲湿度	90%RH 以下
寸法・質量 (自動給水方式)	寸法	195 mm × 369 mm × 405 mm
	質量	約 12 kg
モータ部	定格回転数	1500 min <sup>-1</sup> (50 Hz) 1800 min <sup>-1</sup> (60 Hz)
	モータ形式	コンデンサラン型 単相 4 極誘導電動機
	巻線絶縁の種類	E 種絶縁
	保護装置	サーマルプロテクタ 過電流リレー 漏電ブレーカ



■ ディスポーザ (自動給水方式)